

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3242回例会(平成31年3月6日・水)

今週のプログラム

3月6日(水) 会員スピーチ
「島根半島・宍道湖中海ジオパークについて」
耕雲堂小林病院 名誉院長 こばやししょうたい 小林祥泰氏

次週のプログラム

3月13日(水) ゲストスピーチ
「松江堀川遊覧船あれこれ」
公益財団法人松江市観光振興公社 おとへあきひろ
専務理事 乙部明宏氏

誕生月

永通 烈志	会員	3日	立石 仁司	会員	12日
長野 真久	会員	14日	井ノ口啓二	会員	22日
辻 謙次	会員	28日	波多野秀明	会員	31日
福嶋 徹己	会員	31日			

出席100%賞

古瀬 誠	会員	18年	小村 光寛	会員	16年
谷口 正人	会員	5年			

2019年(平成31年)3月の予定

3月6日(水) 定例理事会
3月10日(日) 第3・第4・第5グループ合同IM
ホスト:出雲南RC
会場:ラピタウェディングパレス(出雲市)
3月20日(水) 定款第8条による休会
3月31日(日) 蕎麦処 ロータリ庵 蕎麦打ちの会
松江市生涯学習センター4F 菓子づくりホール
16時~19時30分

例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
3月13日(水)	大 社	出雲商工会(旧大社商工会)内事務局 (大社町軒築南1344)
3月18日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
3月18日(月)	米 子 南	ANAクラウンプラザホテル米子
3月19日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
4月8日(月)	米 子 南	ANAクラウンプラザホテル米子
4月15日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急



本日のエレクトーン 糸川恵美子 さん

第3241回例会記録

平成31年2月27日(水・曇り)

会員数	69名	ビジター	大多和(松江東)
出席者数	43名		
欠席者数	26名	メーキャップ	上定(出雲)、加来、川内、佐藤明、波多野(松江東) 後藤、佐藤尚、竹岡、田中、中村、原田、福嶋、森岡(宍道湖の幸を食べる会)、伊原(理事会)
出席率	78.12%(出席免除会員含む)		
前々回補正	90.32%(出席免除会員含む)		

会務報告

西村会長
ビジター紹介
ゲストスピーカー紹介
一般社団法人生命保険協会 きむらひさし
島根県協会事務局長 木村尚史様

藤井幹事

ボックスに3月10日(日)IM参加の皆様にご挨拶のプログラム配付。
名札は当日お渡しいたします。
次週、例会終了後、定例理事会開催。

委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 井ノ口会員
出席報告

スピーチ

「生命保険協会へのお申し出あれこれ」
一般社団法人生命保険協会
島根県協会事務局長 木村尚史氏



ニコニコ箱

3,000 円

松江東：大多和（久しぶりにお邪魔します。）
谷口正（木村尚史様 本日のスピーチをお引き受けいただきありがとうございます。よろしくお願ひ致します。）
紀野（本日、木村様のお話ありがとうございます。）

ベストメッセージ賞：該当なし
司会 杉原 有会場監督

ひとこと
随想

自己紹介



木村 俊一郎

この1月より伝統ある松江ロータリーに入会を許されました株式会社松尾工務店の代表を務めております木村俊一郎と申します、何卒よろしくお願い申し上げます。

私は昭和48年に松江で生まれました。大学進学を機に故郷を離れ、県外・海外での生活を経て、今から8年前に故郷に戻ってまいりました。

サラリーマン生活を長らく送っていた私が故郷に戻る決断をしたのは家業を継ぐという強い意志があったわけではなく、年に数回の帰省のたびに感じられた両親の老いに対する漠然とした不安と、長男として何とかしなければならぬと思う責任感のようなものだったと記憶しています。ただ、妻が自分の生まれ育った土地を離れ、松江に暮らすという私の決断に快く寄り添ってくれたことは、本当にありがたいことだと感じています。

松江に戻って驚かされたのは中学や高校の先

輩、同級生、後輩の多くがそれぞれの領域で活躍していること、お互いに助けあっている場面を頻繁に目にするのでした。かくいう私も同級生の自宅の新築工事をさせていただいたり、先輩や後輩に仕事を助けていただいたことが何度もありました。

『同じ場所にとどまり、同じ人間とだけ付き合っていてはだめだ、自分を成長させたいならば自分の知らない人に会い、自分の知らない物・事に触れ、行ったことのない場所に行きなさい。』これは私が大切にしている恩師の言葉です。この度のロータリー入会にあたり、自分の身の丈に合わないことをしているのではないかという迷いもありましたが、ロータリーの活動を通じて恩師の言葉を少しでも実践し、これまでに私を助けて下さった方々、支えて下さる人々に少しでもお返しができるような人間に成長したいと思っています。

（建築）